

平成21年4月30日

各 位

会 社 名 松 尾 電 機 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長執行役員 清水 巧
(コード番号 6969 大証第2部)
問合せ先 執行役員総務・経理部門長 竹野井 薫
(TEL 06-6332-0871)

平成21年3月期業績予想の修正、及び中期経営計画（連結）の修正に関するお知らせ

最近の動向を踏まえ、平成21年1月30日に公表した業績予想を修正しましたので、お知らせします。
また、平成21年3月期を起点とする3ヵ年の中期経営計画（連結）も修正しましたので、同時にお知らせします。

記

1. 通期業績予想の修正
1) 連結業績予想の修正

(単位：百万円, %)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	7,360	△ 450	△ 470	△ 500	△ 19.38
今回修正予想 (B)	7,228	△ 590	△ 590	△ 1,420	△ 55.00
増 減 額 (B-A)	△ 132	△ 140	△ 120	△ 920	—
増 減 率 (%)	△ 1.8	—	—	—	—
前年同期実績 (平成20年3月期)	8,455	△ 456	△ 466	△ 1,725	△ 66.68

2) 単独業績予想の修正

(単位：百万円, %)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	7,320	△ 570	△ 580	△ 600	△ 23.26
今回修正予想 (B)	7,201	△ 570	△ 560	△ 1,630	△ 63.20
増 減 額 (B-A)	△ 119	0	20	△ 1,030	—
増 減 率 (%)	△ 1.6	—	—	—	—
前年同期実績 (平成20年3月期)	8,412	△ 546	△ 545	△ 1,867	△ 72.18

2. 修正理由

【連結】

当社グループは、タンタルコンデンサ、回路保護部品の製造・販売を主たる事業としており、当連結会計年度の売上高に占める割合は、前者が約75%、後者が約18%です。

米国サブプライム問題に端を発する世界的な金融不安のため、世界的に景気は深刻な状況にあります。

このような、厳しい経済情勢の下、第4四半期の売上は、主力のタンタルコンデンサについては、当社の主要納入先である自動車電装品メーカーの大幅な減産体制が強化され、車載向け品の売上が予想以上に減少しました。また携帯機器向け品を中心としたアジア市場の市況が多少の変動はあったものの概ね低調に推移し、第4四半期のタンタルコンデンサの売上高は予想を下回りました。

回路保護部品については、デジタルカメラ、デジタルビデオ等の需要減少の影響を受け、メモリーカード向け5面電極マイクロヒューズの売上が大幅に減少しました。また、液晶テレビ向けに売上を見込んでいたサージアブソーバも、セットメーカーに於けるコストダウンのための設計変更により他の部品に代替されることとなったため、他の使用分野の開拓に尽力しましたが、力及ばず第4四半期の回路保護部品の売上が激減しました。

総じて、第4四半期の当社グループの売上は、予想を下回りました。費用面につきましては、歩留り改善による材料消費量の削減、一部販売単価への転嫁、不採算品種の生産中止、経費・人件費の削減等に努めましたが、売上の減少のため、通期連結営業損益は、上記の如く赤字幅が拡大する見込みです。

また、特別損失として当社福知山工場に係る減損損失、たな卸資産廃棄損、上場株式に係る投資有価証券評価損等を計上するため、誠に遺憾ながら通期連結最終損益は大幅な赤字となる見込みです。

以上の状況を踏まえ、業績予想の修正を行います。

【単体】

個別業績予想修正の理由は、連結業績予想修正の理由に加え、特別損失として関係会社貸付金につき貸倒引当金の設定、海外連結子会社株式につき評価損の計上を行うため、通期最終損益は大幅な赤字となる見込みです。

なお、特別損失については、同日公表しました「特別損失の発生に関するお知らせ」をご参照下さい。

今後の見込みにつきましては、以下に記載しています様に中期経営計画（連結）を修正し、これに基づき営業損益の黒字化を目指す所存です。

3. 中期経営計画（連結）の修正

当社グループは、中期経営計画(平成21年3月期から平成23年3月期まで)を積極的に遂行してきましたが、米国サブプライムローン問題に端を発する金融不安の影響による世界的な経済不況の進行のため、平成21年3月期下半期から当社グループの主要販売先である自動車向け電子機器メーカーが急激な減産体制に入り、その他のデジタルカメラ、デジタルビデオ等のセットメーカーも生産調整に入りました。当面、多少の変動はあるもののこの状況は継続し、本格的な回復は見込めないものと認識しています。更に当社グループの主力製品であるタンタルコンデンサの主原材料価格の値上げも実施されました。

以上、当社グループを取り巻く事業環境の変化及び当期業績を総合的に検討した結果、下記のとおり中期経営計画の数値目標を修正いたします。なお、中期経営計画の基本方針の修正はありません。

【修正後連結業績目標】

(単位:百万円)

	平成21年3月期 (修正予想)	平成22年3月期 (計画)	平成23年3月期 (計画)
売上高	7,320	7,500	8,500
営業利益	△ 570	100	300

【修正前連結業績目標】(平成20年4月30日発表)

(単位:百万円)

	平成21年3月期 (計画)	平成22年3月期 (計画)	平成23年3月期 (計画)
売上高	9,000	9,700	10,500
営業利益	200	400	600

(注)

①上記業績予想につきましては、現時点で入手利用可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、様々な不確定要因が内在しています。今後当社グループを取り巻く市場の経済情勢等により実際の業績は、上記記載の業績予想値と異なる可能性があります。

②平成21年3月期決算短信は、平成21年5月15日に公表を予定しています。

以 上